

# IPv4アドレス在庫枯渇とIPv6に対する自治体クラウドの対応について

- IPv4アドレス在庫の枯渇時期は、現状、アジア太平洋地域のアドレス管理を行っているAPNIC（日本へのアドレス割り振り元）においては、2011年末から2012年初頭と予測されている。
- IPv4アドレスの枯渇後は、サーバーの新設・増設や利用者の新規接続にはIPv6対応が求められ、IPv6接続の利用者が増加する。
- クラウド化された自治体の業務アプリケーション等は民間企業との連携や国民からの直接のアクセス等も想定されていることから、当初よりIPv6への対応が望ましい。

## IPv4アドレス枯渇時期予測 (Geoffモデル)

